

平成30年度 竹の台一斉避難訓練 実施結果

1. 日時 平成30年9月1日(土) 18:00~20:30

2. 場所 各自治会・管理組合の一時避難場所/竹の台小学校体育館

3. 参加人数・参加率・団体別参加状況

スタッフ含む参加総数 227名、参加団体 16/25団体

一時避難場所 210名、避難所(竹の台小学校) 196名、スタッフ17名(教員2名)

		自治会・管理組合名	事前の参加可否	一時避難所		避難所 (小学校体育館)					
				場所	参集人数	世帯数	参加人数				
							男性	女性	合計	未就学児 (再掲)	要援護者 (再掲)
1丁目	1	竹の台1丁目自治会	○	竹の東公園	37	26	13	24	37	5	
	2	三井西神中央パークスクエア		クラブハウス	1	2	1	2	3		
	3	野村西神中央住宅管理組合			6	6	4	4	8		
	4	西神中央パークテラス管理組合	○		4	4	4		4		
2丁目	5	竹の台2丁目自治会	○	竹の中公園	10	7	7	4	11		
	6	マイコート竹の台管理会	○	竹の南公園					0		
	7	ハイライフ竹の台(2)管理会	○	コモンスペース	5	5	3	2	5		
	8	竹の台住宅自治会		竹の中公園					0		
	9	シティハイツ竹の台自治会		竹の中公園					0		
	10	アルファステイツ西神中央	○	竹の台公園	5	3	4	1	5		
	おひさまびっぴ	×	竹の中公園					0			
3丁目	11	竹の台3丁目自治会	○	竹の南公園	8	7	4	4	8		
	12	ホープタウン竹の台V管理組合	○	集会所	7	6	4	3	7		
	13	西神SVビレッジ管理組合	×	バンクーバー村					0		
4丁目	14	竹の台4丁目自治会	○	竹の西公園	66	36	27	32	59	4	
5丁目	15	竹の台5丁目自治会	○	竹の地蔵公園	34	19	7	18	25	1	
	16	ハイライフ竹の台管理会	○	竹の北公園	9	6	5	4	9		
	17	ホープタウン竹の台I管理組合	○	竹の地蔵公園	11	7	3	5	8		
	18	ホープタウン竹の台II管理組合	×	ホープタウン竹の台集会所					0		
	19	ホープタウン竹の台III管理組合							0		
	20	ホープタウン竹の台IV管理組合								0	
	グリーンコリドール		南側緑道					0			
6丁目	21	エクセルシティ西神中央管理組合		桜広場	1	1	1		1		
	22	ラ・フォルテ西神中央管理組合	×	真ん中広場	1	1		1	1		
	23	アールヴェール管理組合		管理棟前					0		
	24	プラウドシティ西神中央管理組合	×	自主管理公園					0		
	25	ジオ西神中央管理組合		竹の北公園	5	5	4	1	5		
		NPO法人びっぴ	×	竹の北公園					0		
		参加住民合計			210	141	91	105	196	10	0
		スタッフ(先生二人含む)			17						
		参加総数			227						
		参加団体数(個人参加含む)			16団体						

4. 実施内容

18:00 各組織の本部連絡員1名、竹の台小学校体育館に集合
・避難所設営 ・受付/受け入れ準備



<本部連絡員受付>



<本部連絡員への説明>



<設営終了>



<時間が余ったので心肺蘇生法レクチャー>

19:00 訓練地震発生

①竹の台あんぜん・安心ネットによるメール配信（登録者のみ）

竹の台安全・あんしんネット配信内容

件名：【竹の台一斉避難訓練】

本文：

こちらは竹の台地域委員会です。これは訓練です[DISASTERDRILL]。平成30年9月1日（土）午後7時00分震度6強の南海トラフ地震が発生しました。訓練避難所は「竹の台小学校」です。

ご近所にも声をかけ合って、まず、所属の自治会・管理組合で決めた「一時避難場所」に避難してください。その後は、各団体のリーダーの指示に従って竹の台小学校に避難してください。懐中電灯、靴袋、筆記用具、非常持ち出し袋をご持参ください。

②各家庭でシェイクアウト訓練※（※まず低く、頭を守り、動かない）



19:05 一時避難場所へ ※非常持ち出し袋（靴袋、筆記用具、懐中電灯）持参

①集まった人で役割分担（リーダーが指示して班長を決める）

1. 一時避難場所

①参集人数

名

②役割分担

	主	副
リーダー		サブリーダー
本部連絡員		
救護班		
消火班		
情報班		
誘導班		



< 4丁目自治会（竹の西公園） >



< 5丁目自治会（竹の地蔵公園） >

②情報班長は参集人数を確認し、避難所の本部連絡員へ連絡

③本部連絡員は「災害対策本部」へ参集人数を報告

④「災害対策本部」は参集人数を集計



自治会・管理組合名	参加	平成30年度	参集人数	丁目別合計
1丁目				
(1) 竹の台1丁目自治会	○	竹の東公園		
(2) 三井物産株式会社パークスクエア管理組合	○	クラブハウス		
(3) 野村西神中央住宅管理組合	○			
(4) 西神中央パークテラス管理組合	○	竹の南公園		
(5) 竹の台2丁目自治会	○	竹の北公園		
(6) マイネット竹の台管理会	○	竹の東公園		
(7) ハイライン竹の台(2)管理会	○	コロンベース		
2丁目				
(8) 竹の台住宅自治会	○	竹の東公園		
(9) シンパイン竹の台管理会	○	竹の北公園		
(10) アルファスイツ西神中央管理組合	○	竹の東公園		
(11) 新ひまわり	×	竹の東公園		
(12) 竹の台3丁目自治会	○	竹の南公園		
(13) ホープタウン竹の台V管理組合	○	志志所		
3丁目				
(14) 高神ビルビレッジ管理組合	×	ロータリー		
4丁目				
(15) 竹の台4丁目自治会	○	竹の西公園		
(16) 竹の台5丁目自治会	○	竹の地蔵公園		
(17) ハイライ竹の台管理会	○	竹の北公園		
(18) ホープタウン竹の台I管理組合	○	竹の地蔵公園		
5丁目				
(19) ホープタウン竹の台II管理組合	×	ホープタウン竹の台集会所		
(20) ホープタウン竹の台II管理組合	×	志志所		
(21) グリーンコート	×	志志所		
6丁目				
(22) シンパイン西神中央管理組合	×	志志所		
(23) アルファスイツ管理組合	×	真ん中広場		
(24) シンパイン西神中央管理組合	×	志志所		
(25) ショウ西神中央管理組合	○	竹の北公園		
(26) HPO法人びびび	×	竹の北公園		
合計			193	193

19:15 避難所設営完了。受け入れ開始を本部から告知。

- ①本部連絡員→避難所開設を一時避難所にいる情報班長へ連絡。
- ②情報班長→リーダーへその旨報告
- ③リーダーが避難所に向けて出発を指示
- ④避難誘導班を先頭に、避難所まで行く



<1丁目 野村西神中央住宅管理組合>



<5丁目自治会（竹の地蔵公園）>

19:20ごろ

- ①避難所に到着したら、情報班長が受付でチェックイン。
- ②受付で連絡員と合流。各丁目のシートへ移動。





③世帯ごとに「避難所入退所届（訓練用）世帯カード」（様式3）記載

1. リーダーが自団体分の「世帯カード」を受付に取りに来る
 2. 自団体で、世帯ごとに「世帯カード」を配布する
 3. 「世帯カード」記入
- ⇒情報班長が回収し、リーダーへ

【様式3】（訓練用）			NO. _____			
世帯カード（訓練用）						
		避難所名（竹の台小学校）				
お住まい	竹の台	丁目	所属自治会・ 管理組合名		自治会 管理組合 管理会	
ふりがな 世帯代表者			参加家族	男性	名	うち
				女性	名	未就学児
				合計	名	要援護者
						名

19:45 停電体験（体育館の電灯を消灯してみる）





<竹の台小 藤岡校長先生>



<西消防署>



<竹の台地域委員会 寛委員長>

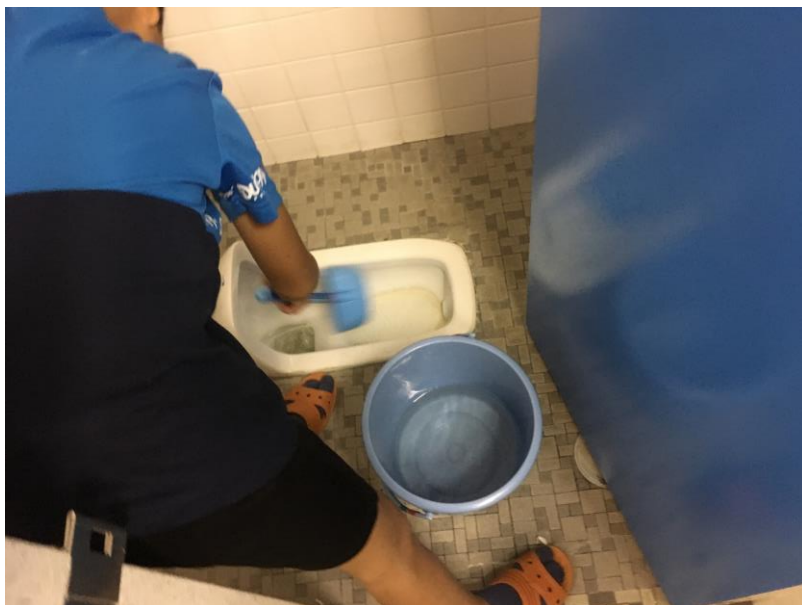


20:00～ 救急救命講習（希望者のみ）17名

【避難所宿泊訓練】

9月1日(土) 20:30 避難所宿泊体験(4家族6名参加、うち小学生1名、中学生1名)

①断水時にトイレの水を流す体験



②宿泊体験



③9月2日(日) 6:30 ラジオ体操



③朝食



5. スタッフ反省

(1) 本部スタッフの人数が少ない(救急インストラクターも含め15人)

改善案) ①救急インストラクターや待ち時間用のブースに外部の人に来ていただく
(西神 NT6 地区防コミの FAST インストラクター、学生など)

②本部スタッフボランティアを募集する(役割を明記、事前に説明会を開催)

③本部連絡員を増やす(2名。一人は連絡係、一人は運営係)

(2) 雨天の場合(警報以外)の実施判断と連絡方法

(3) 通常時から

地震や台風などの際、物的・人的被害状況(安否確認)を各自治会・管理組合から報告してもらう仕組みを作る。事後の片付けも。

緊急時連絡事項

HP や FB、LINE でできないか

ソーシャルブリッジで投げかける

(4) 全体の構想を早めにきちんと決めて、第1回目のワークショップで自治会担当者に周知する。複数の一時避難場所を利用する公園のゾーニング、広報の方法(ポスター)

(5) マンション管理組合の災害時対応について、マンション懇談会で議論する。

